

九州地協 第29回定期委員会



所信を述べる中原議長 (写真中央)

労組の意義・役割を広く語りかけよう

JR連合九州地方協議会(JR九州労組、JR西労組福岡地本、貨物鉄産労九州地区本部、JR九州バス労組)は、9月12日、福岡市で第29回定期委員会を開催し、2020年度の活動方針を満場一致で決定。JR連合ビジョンの実践にむけ、組織を挙げてJR連合への総結集にむけた取り組みを一層強化していくことを確認した。

委員会では、議長に木村委員(JR九州労組)を選出し、議事が進められた。九州地協を代表してあいさつに立った中原議長(JR九州労組中央執行委員長)は、令和2年7月豪雨や台風10号など、4年連続とな

る自然災害による被災や、新型コロナウイルス感染症拡大によるJRグループへの影響、最近の政治情勢に触れたうえで、①安全確立の取り組み、②組織強化・拡大、③政策課題への実現、④コロナ禍への対応、⑤2021春闘への取り組みの5点について所信を述べ、とりわけ「コロナ禍の厳しい状況において、今こそ労働組合の存在意義・役割を広く語り掛け、JR連合ビジョンの実践にむけ、JR連合への総結集にむけた取り組みを一層強化していこう」と呼びかけた。また、来賓にはJR連合から中山耕介政治・組

織部長にご臨席を賜り、激励と連帯の挨拶を頂いた。

議事では、2019年度活動経過報告をはじめ、2020年度活動方針(案)を満場一致で確認。最後に中原議長の力強い団結ガンバローで閉会した。

なお、役員改選では、長年にわたり九州地協を支えていた田中孝志常任委員と野口茂会計監査員(ともにJR西労組)が退任。新たに坂田修常任委員、野正祥平会計監査員(ともにJR西労組)を選出し、新体制がスタートした。

【2020年度役員体制】

- 議長 中原博徳(九州)
- 副議長 米村弘隆(西)
- 副議長 田代 濟人(貨物)
- 副議長 角当 智重(バス)
- 事務局長 宮路 享(九州)
- 常任委員 坂田 修(西)
- 常任委員 原 博之(貨物)
- 常任委員 濱田 敦史(バス)
- 会計監査 野正 祥平(西)
- 会計監査 赤松 重幸(貨物)

未曾有の危機を全組合員が丸となって乗り越えよう!